

学 ぶ 楽 し さ 無 限 大 !

自由大学通信

Vol.10 平成 18 年 4 月 25 日 発行

発行 武蔵野地域自由大学事務局 武蔵野市吉祥寺本町 2-5-10 TK 吉祥寺ビル 8F
Tel : 0422-20-6340 Fax : 0422-20-6341 <http://www.jiyu-musashino.org/>

◎平成 17 年度称号記授与式について… 1 ページ	◎後期寄付講座…………… 3～6 ページ
◎懇談会レポート…………… 2 ページ	◎大学公開講座…………… 6～7 ページ
◎五大学共同教養講座…………… 2～3 ページ	◎事務局からのお知らせ… 8 ページ

平成17年度 称号記授与式が行われました

平成 18 年 3 月 25 日 (土)、亜細亜大学にて称号記授与式が行われました。

平成 17 年度は 9 名の「市民学士」、71 名の「市民準学士」が誕生し、40 名の自由大学生が称号記授与式に参加しました。

当日は長倉自由大学学長、武蔵野地域五大学学長、教育長が出席しました。称号記授与後、教育長からお祝いの言葉をいただきました。



〈称号記授与要件〉

- 市民準学士 : 10 講座以上修了していること
- 市民学士 : 20 講座以上修了していること
- 市民修士 : 30 講座以上修了していること
- 市民博士 : 50 講座以上修了していること

現在の講座数をお知りになりたい方は、自由大学事務局までご連絡ください。(TEL : 0422-20-6340)



称号記授与式 懇談会レポート



称号記授与式終了後、第2部として、称号記授与者と自由大学学長・各大学学長・教育長との懇談会が行われました。

懇談会は、自由大学学長・五大学学長の挨拶の後に、各学長・教育長を囲んでの和やかな雰囲気の中で開催されました。

貴重な時間の中で、皆さま学長のお話に耳を傾け、また自らの人生経験や授業内容などについてお話をされ、非常に有意義な時間となりました。



事務局からのお知らせ



称号記を自由大学事務局にてお渡しします

称号記授与式をご欠席された方の「称号記」を武蔵野地域自由大学事務局にて保管しています。当日ご欠席された授与対象者の方は、「称号記」をお渡しいたしますので事務局までお越しください。(平日 午前10時～午後5時)



五大学共同教養講座 申込受付開始5/1



平成9年から開催している講座で、五つの大学のキャンパスを4回ずつ全20回、順番に会場とするものです。幅広く学ぶことにより皆様のこれからの研究テーマを発見するきっかけになると思いますので、積極的にご応募下さい。ご好評いただいている人気の講座です。

修了証授与要件 (各大学2回以上出席し全体で15回以上出席を満たしたとき1講座と数えます)

■時間：13:30～15:00

■対象：市内在住・在勤・在学の方及び武蔵野地域自由大学生

■定員：120名 (越えた場合は抽選)

■費用：5,000円 (資料代) は講座初日に会場で回収します。

5月19日(金)必着



申込み方法

自由大学生の方は、電話でお申込みください。

電話 自由大学事務局 20-6340 (お名前・学籍番号・連絡先番号をお知らせ下さい)

※セキュリティ向上のため修正作業を行っておりますので、教養講座のホームページ上での申込みはできません。ご了承ください。

<<武蔵野地域五大学共同教養講座日程表>>

各土曜日 13:30～15:00

東京女子大学		現代の学校教育をめぐる諸問題の解決に向けて - 教育心理学の立場から -
場所	東京女子大学 2号館 2101教室	
6/3	理数科離れを防ぐには～小・中学生の縦断調査が示す手がかり	大家まゆみ (文理学部専任講師)
6/10	青少年の心と向き合う～頻発する少年犯罪の背景をさぐる	
6/17	子どもたちのためにできること ～教育現場におけるさまざまな取り組みをめぐる	
6/24	青年期の進路選択～総括講義	
成蹊大学		アジアの民族はいま
場所	成蹊大学 8号館 101教室	
7/1	男と女 どっちがえらい? -台湾高山族における父系社会と母系社会	大久保洋子 (文学部教授)
7/8	変るものと変らぬもの-現代ネパールの男と女	前田亜紀 (文学部非常勤講師)
7/15	嫁は奪うもの-タイ・リス族の結婚のかたち	綾部真雄 (文学部助教授)
7/29	結婚と離婚-大きく変わる「儒教社会」韓国	秀村研二 (明星大学教授)
武蔵野大学		万葉びとの世界
場所	武蔵野大学 1号館 1102教室	
9/2	万葉びとの世界:恋・結婚	並木宏衛 (文学部長・文学部教授)
9/9	万葉びとの世界:死	
9/16	万葉びとの世界:旅	
9/30	万葉びとの世界:季節観	
日本獣医生命科学大学		食品のおいしさを追求する-生産から食卓まで-
場所	日本獣医生命科学大学 312教室	
10/7	チーズの魅力・おいしさを探る	阿久澤良造 (応用生命科学部教授)
10/14	低温蒸気加熱加工法で製造した漬物のような野菜加工品	金子憲太郎 (応用生命科学部教授)
10/21	安心・おいしさの食品流通を考える	佐々木輝雄 (応用生命科学部教授)
10/28	食肉のおいしさと香り	松石昌典 (応用生命科学部助教授)
亜細亜大学		現代フィリピンを考える
場所	亜細亜大学 7100教室	
11/11	戦前・戦後期のフィリピン:スペイン、アメリカ統治の遺産	野澤勝美 (国際関係学部教授)
11/18	マルコス強権政治と経済開発:コメと道路の開発計画	
11/25	ピープルパワーの勝利:アキノ政権がもたらしたもの	
12/2	財政危機と政情不安:民衆の苦悩と改革課題	



後期寄付講座

申込受付期間7/15～8月上旬の予定



寄付講座とは、企業や個人が大学に「奨学寄付金」を寄付して開設する特設講座を自治体として導入したものです。平成11年から実施しています。詳細は7月15日の市報に掲載し、募集しますので、ご覧の上お申し込み下さい。内容は予定ですので、変更になる場合もありますので、ご了承下さい。

- 対象: 18歳以上で市内在住・在勤・在学の方及び武蔵野地域自由大学生で全回出席できる方
- 費用: 5,000円 (資料代)
- 定員: 各講座50名 (中近東文化センターは100名、越えた場合抽選)
- 必要なもの: 顔写真、同意書 (受講決定後、資料代とともに必要です)
健康診断書 (胸部レントゲン結果と総合所見のある1年以内 (17年9月以降) のもの)

● 武蔵野大学 ●

テーマ：「トラウマ・ケア論」

コーディネーター：小西聖子（武蔵野大学人間関係学部 教授）

期間：平成 18 年 9 月 25 日～12 月 25 日（全 12 回）

曜日・時間：月曜日・午後 2 時 40 分～4 時 10 分

内容：**トラウマ反応の理解、家族・コミュニティにできるケアやサポート**

トラウマを負った人の回復のために、家族やコミュニティはどのようなケアやサポートができるのか。「他者をケアすること」の意味を理解し、トラウマ、発達、コミュニケーションなどに関する概念を理解した上で、現実の犯罪被害や、事故の被害、子どもの学校での被害、児童虐待やドメスティックバイオレンスなどの家庭の中の暴力被害などについて、様々な側面から考える。適切なケアやサポートについて、実践的に知る。医療機関や相談機関など専門機関への問い合わせの際のポイントやタイミング、司法や警察とのかかわり方についても考える。

自由大学履修対象講座
9 回以上出席で 1 講座

回	月日	テーマ	講師
1	9 月 25 日（月）	発達とトラウマ： 子どもの性被害と安全	野坂祐子（大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター・専任教員）
2	10 月 2 日（月）	回復とは何か	大山みち子 （武蔵野大学助教授）
3	10 月 16 日（月）	つらい話を聴く： 傾聴と共感について	木村弓子 （武蔵野大学心理臨床センター・相談員）
4	10 月 23 日（月）	精神鑑定とトラウマの問題	辻 恵介 （武蔵野大学助教授）
5	11 月 6 日（月）	ドメスティック・バイオレンス 被害者のケアとサポート	倉橋美智子 （池田病院・臨床心理士）
6	11 月 13 日（月）	児童虐待と母子支援	春原由紀 （武蔵野大学教授）
7	11 月 20 日（月）	子どものトラウマのケア	藤森和美 （武蔵野大学教授）
8	11 月 27 日（月）	ハラスメントとは？	道家木綿子 （東京大学ハラスメント相談所・相談員）
9	12 月 4 日（月）	援助者自身のケア	大澤智子 （兵庫県こころのケアセンター・主任研究員）
10	12 月 11 日（月）	コミュニケーションと災害、事件	小西啓史 （武蔵野大学教授）
11	12 月 18 日（月）	グリーフ・ケア：遺族の問題	白井明美（国立精神・神経センター精神保健研究所 成人精神保健部・流動研究員）
12	12 月 25 日（月）	犯罪被害者のケアへの取り組み	小西聖子 （武蔵野大学教授）

● 亜細亜大学 ●

テーマ：「コミュニティと NPO・市民活動」

コーディネーター：栗田充治（亜細亜大学国際関係学部 教授）

期間：平成 18 年 9 月 26 日～12 月 12 日（全 12 回）

曜日・時間：火曜日・午後 12 時 50 分～2 時 20 分

内容：

武蔵野市寄付講座の趣旨を生かし、地域におけるさまざまな課題を、市民聴講生と学生がともに参加する中で、多角的、多面的に考察することを目的とする。特に、グローバルな視点とローカルな現実感覚を合わせた地域の今日的課題の検討を試みる。

武蔵野市に拠点を置いて活動する NPO・市民活動団体は、市の市民活動センターに登録している団体だけでも、現在 66 団体ある。活動分野も福祉（高齢者、障害者、難病者）、環境・美化、国際交流・支援、文化・芸術、教育・子育て、IT・情報、まちづくり、男女共同参画、防災・防犯、就労支援、NPO・起業支援など多岐にわたっている。

本授業ではそれらの団体から 10 団体程度を選んで講師を依頼し、各々の活動の理念、歴史と現状、団体の諸課題、コミュニティにおける課題などを講義してもらい、地域における諸課題を理解し、NPO・市民活動の今日的な意義をつかむとともに、NPO・市民活動がコミュ

自由大学履修対象講座
9 回以上出席で 1 講座

ニティの健全な発展にどのように貢献出来るかを、検討する。

授業は、講義、ワークショップ、調査活動を織り交ぜながら進める。

亜細亜大学生には毎回のミニレポート提出（所定用紙で授業時間の最後の10分間を使って作成・提出）を課す。また、最終レポート（2000字程度）提出か、講師として登場する団体の訪問調査報告（1000字程度）のどちらかを選択課題として課する。

市民聴講生有志にも、修了式を行う最終回あたりに、学習成果の発表機会を提供する予定である。授業の進み具合によって、ミニ・シンポジウムのような形式で行う可能性もある。時間が余れば、学生にも発表機会を提供する。

回	月日	テーマ	講師
1	9月26日(火)	(オリエンテーション)	栗田充治 (亜細亜大学教授)
2	10月3日(火)	NPO・市民活動の現状と課題	山岸秀雄 (NPOサポートセンター)
3	10月10日(火)	まちづくり活動とコミュニティ (仮)	篠原二三夫 他 (市民まちづくり会議むさしの)
4	10月17日(火)	吉祥寺まち案内所吉祥寺コンシェルジュ	野々山桂 (まちづくり観光機構)
5	10月24日(火)	防犯活動とコミュニティ	小田哲二 他 (日本ガーディアン・エンジェルズ)
6	10月31日(火)	NPO 法人として四年 － “なぜ” と “これから”	高橋博良 他 (武蔵野多摩環境カウンセラー協議会)
7	11月7日(火)	文化・芸術活動とコミュニティ	藤間仁章 (伝統芸能むさしの我夢之会)
8	11月14日(火)	ノーマライゼーションとコミュニティ	古野晋一郎 他 (サポートネット武蔵野)
9	11月21日(火)	けやきコミュニティ協議会 の成り立ちから新しい展開	寺島芙美子 他 (けやきコミュニティ協議会)
10	11月28日(火)	女性のエンパワーメントの拠点として	未定 (むさしのヒューマン・ネットワークセンター)
11	12月5日(火)	NPOの国際支援活動	安藤伸良 他 (プロジェクト HOPE ジャパン)
12	12月12日(火)	(学習成果発表と市民聴講生修了式)	栗田充治 (亜細亜大学教授)
13	12月19日(火)	(学生対象のまとめワークショップ) ※学生のみ。市民受講生の参加は自由です。	栗田充治 (亜細亜大学教授)

● 成蹊大学 ●

テーマ: 「現代を生きる (公助・共助・自助のちから)」

コーディネーター: 大久保洋子 (成蹊大学文学部 教授)

期間: 平成18年9月27日～平成19年1月10日 (全14回)

曜日・時間: 水曜日・午後4時30分～6時00分

内容:

国民・市民・地域住民つまりすべての人々が、人間として健全な社会生活を営んでいくためには、社会として保障し支援する国や自治体を主体とする公助、個人・グループ・組織が相互に思いやり協力することによって可能となる共助の領域、そして個々人が社会を見据えて努力をしていく自助のちからが必要である。それらが自然な形で連携し、共同体の住民意識や存在価値を醸成していく。ある地域に住むひとびと、そこに存在するさまざまな商店や企業、学校・大学・組織などが相互に関わりあってちからを提供し、そしてバランスよく共に繁栄していくことが望まれるのではないだろうか。

この授業では、武蔵野市を例としてとりあげ、コミュニティ、環境、情報、福祉や生涯学習、文化など、それぞれの担当者の観点から三領域のちからにふれ、どのようにバランスをとりながら地域の活性化を担ってきたかについて述べる。また、国際的視点で公助・共助・自助のちからを考察するために、世界のひとびとを支援する国際協力、三つのちからの結晶であるスウェーデンの福祉の理念を加えて講義する。

自由大学履修対象講座
10回以上出席で1講座

回	月日	テーマ	講師
1	9月27日(水)	授業全体の概要オリエンテーション	高田昭彦 (成蹊大学文学部教授)
2	10月4日(水)	武蔵野市におけるコミュニティづくり	高田昭彦 (成蹊大学文学部教授)
3	10月11日(水)		
4	10月18日(水)	環境の「再生」と「共創」	飯塚邦彦 (成蹊大学非常勤講師)
5	10月25日(水)		
6	11月1日(水)	地域を活性化する情報化とは何か	奥野昌弘 (成蹊大学文学部教授)
7	11月8日(水)		
8	11月15日(水)	共に生きる福祉と生涯学習	大久保洋子 (成蹊大学文学部教授)
9	11月22日(水)		
10	11月29日(水)	文化を伝え地域に活かす	中江桂子 (成蹊大学文学部助教授)
11	12月6日(水)		
12	12月13日(水)	国際協力のさまざまな形	墓田 桂 (成蹊大学文学部講師)
13	12月20日(水)		
14	1月10日(水)	スウェーデンの福祉の理念	大久保洋子 (成蹊大学文学部教授)

● 中近東文化センター ●

テーマ:「中近東における美(その2)」

期間:平成18年9月2日～平成19年1月27日(全11回)

曜日・時間:土曜日・午後1時30分～3時00分

内容:未定

自由大学履修対象講座
9回以上出席で1講座

大学公開講座のご案内

今回は、自由大学履修対象科目として4つの公開講座をご案内します。各講座とも事前申込みの必要はありません。会場に直接ご来場ください。当日大学で出欠をとります。

自由大学履修対象講座
7回以上出席で1講座

● 武蔵野大学 日曜講演会 ●

回	月日	演題	講師
第480回	5月21日(日)	阿弥陀と念仏との出会い	カール・ベッカー(京都大学大学院教授)
第481回	6月18日(日)	心理療法としての仏教	安藤 治(花園大学教授)
第482回	7月16日(日)	「共生」ということについて	竹村牧男(東洋大学教授)
第483回	9月17日(日)	悪人正機思想 -歎異抄第三章をめぐって-	伊藤 益(筑波大学大学院教授)
第484回	10月15日(日)	「妖怪画の伝統と創造」	小松和彦(国際日本文化研究センター教授)
第485回	11月19日(日)	「元気で長生き」の秘訣 -最新抗加齢医学が教える念仏の功德-	戸松義晴(浄土宗総合研究所専任研究員、 慶応義塾大学講師(医学部))
第486回	12月17日(日)	「宗教と科学」	安斎育郎(立命館大学教授、国際平和 ミュージアム館長)
第487回	平成19年 1月28日(日)	「一音説法の魅力」	石上和敬(武蔵野大学専任講師)
第488回	2月18日(日)	死の意味・苦の意味	田中教照 (武蔵野女子学院学院長、武蔵野大学教授)

■時間:午前10時～11時30分(各回とも) ■会場:武蔵野大学グリーンホール

■受講料:無料

■申込み:不要。当日直接会場へお越しください。

■問合せ:武蔵野大学 総務部庶務課 Tel 042-468-3114

●亜細亜大学 地域産学公連携事業 「連続討論会」街づくり未来塾●

統一テーマ：「商業と地域活性化」

自由大学履修対象講座
3回以上出席で0.5講座

回	期日	テーマ	講師
1	5月11日(木)	流通構造の変化と 地域小売業の将来	寺沢利雄 (亜細亜大学大学院講師、 (有)マーケティングアクセス代表取締役)
2	5月18日(木)	学生とともに創造する商店街 -八王子駅北口周辺商店街の事例-	佐藤邦彦 (有)佐藤書房代表、 八王子三和会商店街振興組合理事長)
3	5月25日(木)	地域金融機関から見る 地域産業の振興	落合寛司 (西武信用金庫専務理事、中小企業診断士)
4	6月1日(木)	商工業振興と地域活性化	稲垣英夫 (武蔵野商工会議所会頭、 (株)三祐産業代表取締役)
5	6月8日(木)	地域と大学の連携 -広島大学の取り組み-	山本公平 (広島大学助教授、中小企業診断士)

■時間：午後6時～8時(各回とも) ■会場：亜細亜大学2号館227教室

■参加費：各回500円

■問合せ：亜細亜大学 地域産学公連携推進室 Tel 0422-36-9269

●日本獣医生命科学大学 前期総合文化講座●

総合テーマ：「現代の酒造り」

自由大学履修対象講座
3回以上出席で0.5講座

回	期日	テーマ	講師
1	5月12日(金)	アルコール醗酵の原理と酒造りの歴史 そして世界の酒	後藤公彦(日本獣医生命科学大学 食品バイオテクノロジー教室 助教授)
2	5月26日(金)	ワインメーカーが語る 日本のワイン造りの現状	竹内 潔 (マンズワイン株式会社 品質保証室長)
3	6月9日(金)	清酒～見事なる平行複発酵と 先人の知恵に学ぶ	吉浦貴紀(茨城県工業技術センター 食品バイオ部門 主任研究員)
4	6月23日(金)	ビール醸造学 -ビール、発泡酒、その他の発泡性酒類-	山下 博(アサヒビール株式会社 商品技術開発本部 部長)

■時間：午後4時20分～6時(各回とも) ■会場：日本獣医生命科学大学第一校舎第4号棟第312講義室

■定員：100名(先着順)

■受講料：無料

■申込み：不要。当日直接会場へお越しください。

■問合せ：日本獣医生命科学大学 地域社会生涯学習委員会 Tel:0422-31-4151

●成蹊大学 前期公開講座●

統一テーマ：「知の最前線への誘い」

自由大学履修対象講座
3回以上出席で0.5講座

回	期日	テーマ	講師
1	5月20日(土)	環境とエネルギー	里川重夫(成蹊大学理工学部助教授)
2	5月27日(土)	古代ギリシアの民主政と自然観	瀬戸一夫(成蹊大学法学部教授)
3	6月3日(土)	経済予測における統計学の役割	井上智夫(成蹊大学経済学部教授)
4	6月10日(土)	紛争と平和と国際社会	墓田 桂(成蹊大文学部専任講師)

■時間：午後1時30分～3時30分(各回とも) ■会場：成蹊大学8号館101室

■受講料：無料

■申込み：不要。当日直接会場へお越しください。

■問合せ：成蹊大学企画運営課 Tel 0422-37-3531

事務局からのお知らせ

自由大学交流センターの使用について

自由大学生の交流のスペースとして設けた自由大学交流センターです。

ご利用方法をご確認の上、是非、ご活用下さい。

開館日：平日（土日祝日、年末年始は休館日）

利用時間：午前10：00～12：00、午後13：00～17：00

利用資格：個人利用・・・自由大学生、団体・・・自由大学生が1人以上いる団体

団体の会議、打合せ、勉強会、団体会報誌の印刷等の利用ができます。（営利目的の場合不可）

備品：印刷機1台（100枚以上の印刷）、コピー機1台、机（3人掛18台）、椅子54脚

申込方法：事務局にある使用申請書を提出（使用日の3ヶ月前より受付）してください。


電話予約もできますが、後日必ず使用申請書を提出して下さい。

その他：茶話会としての飲食は可（アルコール、昼食は不可）

後片付け、ゴミの持ち帰りは各自お願いします。

※ 利用者多数になり問題が生じた場合は利用について変更する場合がございます。

健康診断書について

大学正規科目履修受付（2月）や、寄付講座受講（3月、9月頃）の際に健康診断書を提出いただいています。これは、学生と同じ教室で受講するにあたって結核の有無と健康状態を確認するためです。ご理解をお願いいたします。なお、健康診断書は、受講受付時から1年以内に受診した各市・区の健診や会社等の健康診断結果の写し（ゲン結果と総合所見があるもの）をもって代えることができます。

寄付講座マスタの正規科目を履修するご予約の方は、年に1度の健康診断（武蔵野市の基本健診の場合は対象が満40才以上の市民で、職場などで健診を受診できない方。受診は誕生月とその翌月の2か月間です。）を受診しておくことをおすすめいたします。

新任の事務局員の紹介

4月3日から勤務に就きました。

交流センターで皆様にお目にかかれますのを楽しみにしております。

よろしく願いいたします。



岡田 万里子

武蔵野地域自由大学事務局(交流センター内)

アドレスが変更になりました

E-mail jiyu-musashino@nifty.com



〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町2-5-10

TK吉祥寺ビル8階 吉祥寺駅北口徒歩7分

Tel 0422-20-6340 Fax 0422-20-6341

月曜～金曜 10時～17時

